

【公開文書】

臨床研究「中枢神経に病変を認めるリンパ腫を非侵襲的に診断するための新規バイオマーカー探索研究」について

筑波大学附属病院脳神経内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

リンパ腫は血液疾患ですが、神経症状で発症することがあるため、当科に入院になることがあります。本疾患と似たような症状が出現する疾患で多発性硬化症や脳腫瘍などがありますが、治療方針が大きく異なります。現在、脳に病変があるリンパ腫を診断するには脳の一部を採取してくる脳生検を行って確定診断されることがあります。しかし、脳生検は侵襲の大きい検査であり、患者様に負担がかかるため、血液検査や髄液検査などで負担が少なく診断できる方法の開発が望まれます。

② 研究対象者

2013年4月1日より2018年7月31日までに当院に入院し、髄液検査、採血を行ったリンパ腫、多発性硬化症、視神経脊髄炎、脳腫瘍の患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2019年5月31日まで

④ 研究の方法

血液、髄液中のある物質の濃度を調べます。この物質がリンパ腫の方と他の疾患の方と比較し、上昇しているかを調べます。血液、髄液は検査の際に残った検体を用いるため、改めて採血、髄液検査をすることはありません。

⑤ 試料・情報の項目

血液、髄液、検査データ、診療記録。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

本研究は当院単独の研究であり、他の施設へ患者様のデータが提供されることはありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者 辻 浩史 所属 筑波大学医学医療系神経内科 役職 講師

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：脳神経内科 担当 辻 浩史

電話・FAX 029-853-3224

(対応可能時間 「平日 9～17 時」)